

『日本在宅救急医学会雑誌』投稿規定

令和元年9月3日

1. 本誌に投稿，掲載を希望する論文は，在宅救急医学に関する内容を有するもので，しかも他誌に発表，または投稿していないものに限る。さらに二重投稿および同時投稿でない旨を明記し，著者全員が署名，押印した誓約書（別紙），著作権を無償で学会に譲渡する旨の同意書，利益相反の有無に拘わらず著者・共著者全員分の枚数の利益相反自己申告書を添付すること。著者は連名も含め日本在宅救急医学会の会員であることが必要であるが，編集委員会で承認された場合（特集原稿の著者，病理・放射線科・麻酔科の医師など）はこのかぎりではない。入会手続きは，ホームページからオンライン入会するか，事務局（029-295-2611）まで問い合わせのこと。ただし，先に日本語以外で発表された論文を教育・啓発の意味で本誌に再投稿する場合，編集委員会の判断で採用される場合がある。この場合，外国語で発表されたものであることを明記し，その論文を参考文献として引用しておくこと，先に発表した雑誌編集委員長の許諾を得た書類を添付することが必要である。
2. 原著，症例報告の投稿形式は，論文題名，著者名，所属施設名，和文要旨，英文抄録，索引用語（4語以内），本文，文献とし，図表の説明は日本語とする。編著の論文形式は，はじめに，対象および方法，成績（結果），考察，結論の順に記載する。特集の論文は「総説」とする。
3. 用語は新仮名遣いを用い，本文中の外国人名は言語で，薬品については一般名の形で掲載することが望ましい。また，論文中にしばしば繰り返し登場する用語については略語を用いて差し支えないが，とくに慣用されているもの（US, CT, MRI, MRCP, ERCP, IVR）を除き，初出の際は完全な用語を記載し，以後，略語を使用する旨記述する。
(例) multiple organ failure（多臓器不全：以下，MOF）
4. 英文抄録は，論文タイトル，著者名，所属施設名を含めて，12ポイント（200words程度）とする。
5. 文献の記載方法：
 - a) 記載順序は引用順とし，本文中に肩付番号を付すこと。
 - b) 欧文誌は Index Medicus にならい，著者名，題名，雑誌名，西暦年号，巻数，頁数（始一終）の順に記載する。
 - c) 和文誌についても欧文誌に準ずる。
 - d) 誌名略記は，邦文文献は医学中央雑誌刊行会の略とし，外国語文献については国際略語規約に準じた Index Medicus 所載のものとする。
(例) 1) 小豆畑丈夫，照沼秀也，吉田雅博，ほか：在宅医療を受けている患者の

急変対応について。日在救医学会誌 2019:1:15-30

(例) 2) Bornman PC, Theodorou NA, Jeffery PC, et al : Simple closure of perforated duodenal ulcer : a prospective evaluation of a conservative management policy. Br J Surg 1990;77:73-75

e) 単行本については、著者名、題名、編者名、書名、巻、版、発行地、発行所、西暦年号、頁数、(始一終)(和文以外のものでは編集者名と書名、巻、版を逆の順とする)。

(例) 3) 安田秀喜, 高田忠敬 : 肝腫瘍. 四方淳一監, 腹部救急診療の実際, 東京, 医学図書出版, 1992:258-269.

(例) 4) Krome RL : Gastrointestinal emergencies. In Kravis TC, Warner CG, eds. Emergency Medicine. A Comprehensive Review. London: An Aspen Publication, 1983:325-333.

f) 著者名は3名までは併記し、それ以上は「ほか」または「et al」として記載する。

6. 投稿要領について(原則としてE-mailで投稿):

a) 原稿(テキスト)は横書き400字詰A4判様式とし、必ずページ数と行数を付けてE-mailで添付する。

b) 図(写真も含む)、票はA4判大の用紙に貼付し、そのまま印刷可能な明瞭なものが望ましい。トレースを必要とする場合は実費を徴収する。写真は1枚につき原稿用紙1枚(400字)分とし、原則モノクロで掲載する。

c) 著者校正は1回限りとし、返送期日を厳守すること。

d) 論文の枚数の制限(1枚400字)、その他の規定を次に示す。

論文形式	本文	図表	和文要旨	英文抄録	索引用語	刷り上がり頁
原著	25枚(10,000字)以内	15枚以内	400字以内	200words	4語	8頁
症例報告	8枚(3,200字)以内	4枚以内	400字以内	200words	4語	8頁
特集	15枚(6,000字)以内	10枚以内	400字以内	200words	4語	8頁
講座	15枚(6,000字)以内	12枚以内	400字以内	200words	4語	8頁
技術	15枚(6,000字)以内	12枚以内	400字以内	200words	4語	8頁

※ 規定枚数を厳守してください(図1a~図1dの場合は4枚とみなします)。

7. 利益相反について:

a) 論文を投稿する際には、全著者(共著者含む)は本論文において議論されている商品や材料と関連するバイオテクノロジー企業、製薬会社、その他の商業団体との経済的関係についてすべて開示する。

b) 上記を参考のうえ、論文投稿時に「利益相反自己申告書」(別紙)を添付すること。

8. 倫理指針の厳守について：
投稿論文が、倫理審査が必要な研究の場合は、研究開始前に倫理委員会や IRB あるいはそれに準じた諮問委員会での審査と、それに基づく施設長の許可を得ておく必要がある。また、介入研究の場合は、それに加えて公開データベースへ登録しておく必要がある。特定臨床研究の場合は、臨床研究法に定められた所定の手続きを終えてから実施する必要がある。著者と共著者は、全員がこの指針を遵守していることを確認した上で、誓約書に署名する必要がある。症例報告は、倫理審査が必要であるが、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」(<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000166287.pdf>)を遵守する必要がある。
9. 諸作権ならびにホームページ転載について：
 - a) 掲載された論文の著作権は、日本在宅救急医学会に無償で帰属するものとし、同意書（別紙）を添付する。
 - b) 本誌に掲載された論文はオンラインジャーナル（ホームページ）で公開される。
10. 掲載ならびに別途料金は、原著は刷り上がり 8 頁、特集 5 頁、講座、技術は 6 頁、症例報告は 3 頁まで無料とし、それ以上は印刷実費（1 頁あたり 30,000 円）を徴収する。別刷についても実費（依頼論文は 30 部まで無料とする）とし、料金徴収後に送付する。また、印刷代を二重振り込みした場合は、確認後、二重入金分を返金するので（振込手数料を差し引いて）、振り込み先情報（金融機関名、支店名、口座名と読み方、口座種類、口座番号等）とあわせてその旨を学会事務局（E-mail : zaitakukyukyu@gmail.com）まで連絡すること。希望別冊数は 50 部単位で校正刷に明記の上、申し込むこと
11. 投稿論文の採否は編集委員会の審査により決定し、可及的速やかに筆頭論文執筆者に通知する。
12. 投稿規定は、改正することがある。
13. 論文の投稿先：原則として投稿は E-mail(zaitakukyukyu@gmail.com)に添付しておく。
14. 問い合わせ：
投稿規定全般に関する質問は、日本在宅救急医学会編集委員会
E-mail : zaitakukyukyu@gmail.com
TEL:029-295-2611(電話受付時間：平日 9:00～17:00)

日本在宅救急医学会編集委員会
〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 605 小豆畑病院内
Tel. 029-295-2611 Fax. 029-295-5022